

第3学年 国語科学習指導案

日 時：平成21年10月2日（金）

児 童：第3学年 男6名 女12名 計18名

指導者：小野寺康典

場 所：3年教室

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」
「食べ物はかせになろう」（光村図書「あおぞら」3年下）

2 単元について

(1) 単元について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」ことである。本単元に関わる内容としては、「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」「カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと」が指導事項となる。

また、「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる」ことである。本単元に関わる内容としては、「ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること」「イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること」「ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと」が指導事項となる。

本単元は、「読むこと」と「書くこと」に関する2つの教材から成っている。1つ目の『すがたをかえる大豆』は、段落やキーワードに注意しながら読み取る説明文教材である。一学期に学習した『ありの行列』は仮説－検証型の文章構成だが、『すがたをかえる大豆』は解説型の文章であるので、両者を比較しながら文章構成の特徴を押さえたい。2つ目の『食べ物はかせになろう』では、自分で調べたいものを選び、それに関する情報を集めて文章にまとめる学習をする。調べることを決める、本を探してその中から調べたい事柄を選び出す、書き出す、文章にまとめる、といった多くのステップを踏むが、情報活用の基礎となる力を養成する側面も持つ学習である。

これらのことから、本単元の目標を「中心となる語や文、段落相互の関係に注意して読み、身近な食べ物について調べたことを分かりやすくまとめることができる」と設定した。

(2) 児童について

「読み、理解する力」については、『ありの行列』において、段落ごとの中心文をとらえ、その要点を押さえるという活動を行った。段落を短い文でまとめ、並べることで、児童は説明文全体の内容を整理して理解することができた。この指導によって、段落の中でどの文が一番大事なのかを見つけることができるようになってきた。

「論理的に考える力」については、『ありの行列』において、段落相互の関係を考えさせる指導を行った。前述のように段落ごとの中心文を見つけた後、それらの関係に着目させ、「はじめ」「中」「終わり」という構成になっていることを学習した。その結果、自分で調べた内容を文章にまとめる際、「はじめ」「中」「終わり」という説明文の典型的構成を使って文章を書くことができた。何かを説明する際の効果的な構成として理解し、自分なりに段落構成を工夫して書くことができた児童も見られた。

「表現する力」については、『道あんないをしよう』の学習において、順序立てて案内をする活

動を、『「分類」ということ』の学習において、グループごとにまとめたことを発表する活動を行ってきた。話す内容を事前にまとめ、グループで練習したり発表を相互評価したりすることを繰り返してきた。その結果、筋道を立てて話すことができる児童が見られるようになってきた。話すことに抵抗のある児童も、事前に話すことをまとめておくことで、落ち着いて自分の考えを表現することができてきた。

(3) 指導にあたって

「国語の力」を高めるために、次のような仮説に関わる指導を行っていきたい。

①仮説1について

本単元では説明文の新しい段落構成について学び、それを生かして、自分が調べた食べ物について文章を書くことができることをねらう。しかし、児童は本で調べる活動の経験はあるが、本に書かれている文章を丸ごと写す場合がほとんどである。そこで、「情報カードの活用」という言語活動を設定する。調べる際、情報カードへの書かせ方を工夫することで、丸写しでない調べ方を身につけさせたい。具体的には、付箋紙のカードに短い情報をいくつも書き集め、あとからそれを整理する、という活動をさせる。このことによって、段落に書き分ける必然性や、関連する内容の分類など、分かりやすい文章を書く力をつけることをねらう。

②仮説2について

授業の中に対話活動の形態を取り入れる。お互いの文章を小グループで読み合い、お互いの文章について感想を交流し合うという活動である。その際に、読む視点をはっきりさせてから取り組むことで、児童は相手の文章の良い点を見つけたり、感想を書いてあげたりすることができる。と考える。

また、調べ学習については、学習形態としては児童の主体的な活動であるが、本の探し方や調べ方が分からなければ、教師の薦めた本を読み、文章を書き写すだけという主体性の薄れた学習になってしまう。そこで、第三次の初めには、本の探し方や調べ方を、具体的な例を通して指導する。調べる方法を身につけさせることで、どの児童にも自分の力で調べているという実感を持って取り組ませたい。

③仮説3について

学習を支える力としては、関連図書の充実を図る。実際に第三次で食べ物についての本を探す活動に入る前から、児童には食べ物に関する多くの本に触れて欲しいと考える。意図的に関連図書を集めておき、単元の学習中に自由に読むことのできる環境を作る。

また、難しい言葉については国語辞典の活用も図る。国語辞典については使い方を学習して間もないが、国語の時間だけではなく、他教科などの授業場面でも触れる機会を増やし、児童が楽しみながら主体的に調べられるように配慮している。

3 単元の目標

◎中心となる語や文、段落相互の関係に注意して読み、身近な食べ物について調べたことを分かりやすくまとめることができる。

(関心・意欲・態度)

○食べ物について書かれている文章に興味を持って読む。

(読むこと)

○中心となる語や文、段落相互の関係に注意して読み、身近な食べ物についての知識を得る。

(書くこと)

◎本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて書く。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	書くこと
○興味を持って食べ物に関する本を読み、分かったことを情報カードに書こうとする。	○段落ごとの中心となる語や文をとらえたり、段落相互の關係に注意したりしながら読み、大豆について理解している。	◎身近な食べ物について本を選び、知りたい情報を選んでカードに書き、分かりやすく文章にまとめることができる。

5 単元指導計画（17時間）

次	時	主な学習活動	評価規準（評価方法）
第一 次	1	○教材文「すがたをかえる大豆」を読んで感想を交流し合い、学習の見通しを持つ。	【関】教材文を読んで意欲的に感想を交流し、今後の見通しを持つことができる。 (発言・ノート)
	2	○全体を読み、どんな食品が出てきたかを確認する。	【読】教材文に出てきた食品の種類を読み取ることができる。(ノート)
第二 次	3	○大豆をおいしく食べる工夫にはどんなものがあるのかを読み取る。	【読】おいしく食べる工夫について一つ一つの段落から正しく読み取っている。 (ワークシート)
	4		
	5	○おいしく食べる工夫と、それに対応する食品名を読み取る。	【読】それぞれの工夫に対応する食品名を読み取り、まとめることができる。 (ワークシート)
	6		
	7	○全文を「はじめ」「中」「終わり」の三つに分け、書かれていることをまとめる。	【読】段落構成を読み取り、大きなまとまりを理解している。(ワークシート)
	8	○それぞれの段落の小見出しを考え、文章の構成を確認する。	【読】それぞれの段落の内容と文章構成を理解している。(ワークシート)
第三 次	9	○「食べ物はかせになろう」を読み、調べたことを文章にまとめるまでの流れをつかむ。	【書】調べ学習の流れをつかむ。 (ノート)
	10	○調べたい食べ物を決める。	【書】調べたい食べ物と調べる事柄を決め、学習計画を立てることができる。 (ノート)
	11	○本での調べ方を知る。	【書】本での調べ方を知り、調べ学習の見通しを持つことができる。(ワークシート)
	12	○本で調べ、情報カード（付箋紙）に書く。	【書】必要な本を探し、大事なことを情報カードに書くことができる。(情報カード)
	13		
	14	○カードの並び替えをすることで情報を整理し、小見出しを書き、それを見せ合い、アドバイスし合う。	【書】書き集めた情報カードを整理して、文章構成を考える。 (ワークシート)
	15	○情報カードのまとまりごとに文章を書く。	【書】調べたことを事柄ごとに分けて文章に書くことができる。(作文)
	16	○清書して、本にする。	【書】文章を推敲し、清書することができる。 (作文)
	17	○作った本を読み合い、互いに評価し合う。	【書】互いに書いた本を読み合い、良い所を見つけている。 (ワークシート)

6 本時の指導 (14/17)

(1) 目標

書き集めた情報カードを整理して、文章構成を考えることができる。

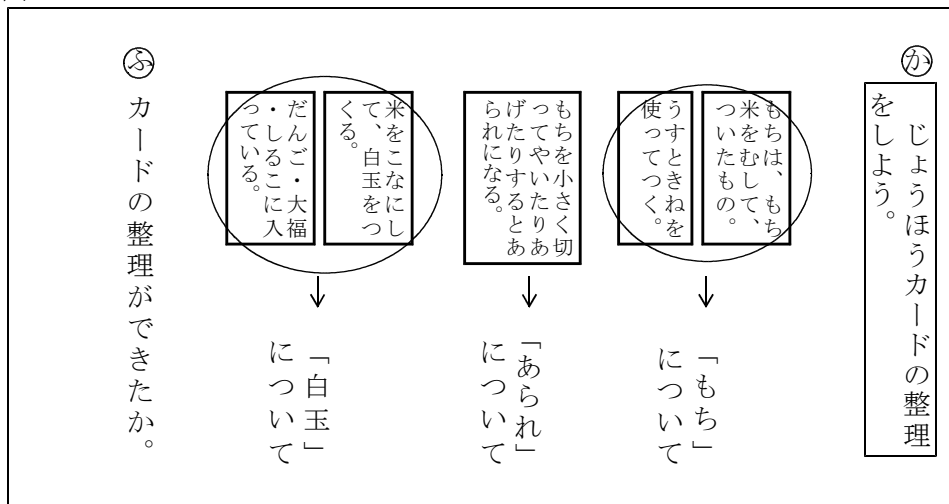
(2) 展開

段階	学習活動	発問と予想される反応	指導上の留意点・評価 (※支援 ☆評価)
導入 5分	1 本時の学習を確認する。		
	じょうほうカードの整理をしよう。		
展開 35分	2 本時の学習の見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ○カードの整理をしていきます。 ○まず先生のカードで練習してみましょう。先生のカードでは、同じなかまになりそうなカードはありますか。(分類) ○順番を考えましょう。どのカードを最初にしたらよいでしょうか。(構成) ○できたら、並べたまとまりごとに、見出しをつけます。このまとまりには、どんな見出しをつけるとよいでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の例示を通して、本時の活動の具体的なイメージを持たせる。 ・関連した内容のなかま分けのあと、文章構成(書く順番)を考えるということをおさえる。 ・例示した物に、児童の意見を探り入れながら小見出しをつけていく。
	3 情報カードの整理をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で調べた情報カードを並べ替えていきましょう。まとまりができた人は、小見出しをつけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆情報カードを並べ替えて関連した内容ごとのまとまりを作り、それぞれに小見出しをつけている。 (ワークシート・観察) ※活動に取りかかれない児童には、似ている内容のものはないか、同じテーマで調べた物はないかなどの視点をアドバイスする。
	4 互いに情報カードのまとまりを見せ合い、アドバイスし合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○グループの友だちと見せ合って、整理ができたかどうか教えてあげましょう。 ○順番はこれでよいか、なかま分けはこれでよいかを見て、教え合いましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連した内容のまとまりになっているか、書く順番はこれでよいか、小見出しは適切か、などの視点を与え、互いに評価できるようにする。
	5 本時の学習をふり返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習をふり返りましょう。 	
5分	6 次事の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○次の時間は、まとまりごとに文章を書きます。 	

(3) 具体の評価規準

◎十分満足できる	○満足できる	支援を要する児童への手立て
情報カードを並べ替えて関連した内容ごとのまとまりを作り、それぞれに小見出しをつけている。	情報カードを並べ替えて関連した内容ごとのまとまりを作っている。	似ている内容のものはないか、同じテーマで調べた物はないかなどの視点をアドバイスする。

7 板書計画



8 参考資料

	書名	著者	出版社
1	身近な食べもののひみつ1 すがたをかえる米・麦	幕内秀夫／神みよ子	学研
2	身近な食べもののひみつ2 すがたをかえる豆	幕内秀夫／神みよ子	学研
3	身近な食べもののひみつ3 すがたをかえる野菜・きのこ	幕内秀夫／神みよ子	学研
4	身近な食べもののひみつ4 すがたをかえる果実・種実	幕内秀夫／神みよ子	学研
5	身近な食べもののひみつ5 すがたをかえる魚・海草	幕内秀夫／神みよ子	学研
6	身近な食べもののひみつ6 すがたをかえる肉	松岡昭善／神みよ子	学研
7	身近な食べもののひみつ7 すがたをかえる牛乳・たまご	古川徳／神みよ子	学研
8	発見！体験！日本の食事1 ドングリクッキー	次山信男	ポプラ社
9	発見！体験！日本の食事2 すいとん	次山信男	ポプラ社
10	発見！体験！日本の食事3 そば・うどん	次山信男	ポプラ社
11	発見！体験！日本の食事4 すし	次山信男	ポプラ社
12	発見！体験！日本の食事5 おにぎり	次山信男	ポプラ社
13	発見！体験！日本の食事6 もち	次山信男	ポプラ社
14	発見！体験！日本の食事7 豆腐・みそ・しょうゆ	次山信男	ポプラ社
15	おもしろふしぎ日本の伝統食材1 なす	奥村彪生	農文協
16	おもしろふしぎ日本の伝統食材2 さといも	奥村彪生	農文協
17	おもしろふしぎ日本の伝統食材3 だいこん	奥村彪生	農文協
18	おもしろふしぎ日本の伝統食材4 にんじん・ごぼう	奥村彪生	農文協
19	おもしろふしぎ日本の伝統食材5 だいず	奥村彪生	農文協
20	たのしく たべよう たべもの絵本1 ごはんのはなし	農文協 編	農文協
21	たのしく たべよう たべもの絵本2 やさいのはなし	農文協 編	農文協
22	たのしく たべよう たべもの絵本3 おいものはなし	農文協 編	農文協
23	たのしく たべよう たべもの絵本4 おまめのはなし	農文協 編	農文協
24	たのしく たべよう たべもの絵本5 さかなのはなし	農文協 編	農文協
25	たのしく たべよう たべもの絵本6 かいそうのはなし	農文協 編	農文協
26	NHK地球たべもの大百科1 中国 ぎょうざ	谷川彰英	ポプラ社
27	NHK地球たべもの大百科2 インド カレー	谷川彰英	ポプラ社
28	NHK地球たべもの大百科3 イタリア スパゲッティ	谷川彰英	ポプラ社
29	NHK地球たべもの大百科4 フランス フランス料理	谷川彰英	ポプラ社
30	NHK地球たべもの大百科5 イギリス お茶とケーキ	谷川彰英	ポプラ社
31	NHK地球たべもの大百科6 ルウェー バキング料理 ドイツ ジャガイモ料理	谷川彰英	ポプラ社
32	NHK地球たべもの大百科7 フィリピン コヤシ料理 メキシコ タコス	谷川彰英	ポプラ社
33	NHK地球たべもの大百科8 タイ トムヤムクン	谷川彰英	ポプラ社
34	NHK地球たべもの大百科9 韓国 キムチ	谷川彰英	ポプラ社

35	NHK地球たべもの大百科10 エジプト 豆料理	谷川彰英	ポプラ社
36	NHK地球たべもの大百科11 スペイン パエリア	谷川彰英	ポプラ社
37	NHK地球たべもの大百科12 スイス チーズフォンデュ	谷川彰英	ポプラ社
38	NHK地球たべもの大百科13 ロシア ボルシチ	谷川彰英	ポプラ社
39	NHK地球たべもの大百科14 日本 江戸前寿司	谷川彰英	ポプラ社
40	いつ・どこからきたの？食べものの伝来がわかる絵辞典	岡田哲	PHP

教材分析表

要旨	単元名 大事なことをたしかめよう 教材名 すがたをかえる大豆（光村図書「国語三年下」あおぞら） （関心・意欲・態度）○食べ物について書かれている文章に興味を持って読み、身近な食べ物について（読むこと）○中心となる語や文、段落相互の関係に注意して読み、身近な食べ物について（書くこと）◎本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて書く。
	わたしたちの毎日の食事のなかで、多くの人がほとんど毎日口にしていてる食品は大豆である。大豆は、味と栄養を保つためにいろいろ加工がなされ、さまざまな食品にすがたを変えて食べられている。

終わり		中					はじめ		意味段落
まとめ		大豆をおいしく食べる工夫と食品名					大豆の紹介		形式段落
⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
大豆のよい所と取り入れてきた昔の人々のちえをさがす。	大豆のよい所と取り入れてきた昔の人々のちえをさがす。	これらのほかに、取り入れる時期や育て方を工夫した食べ方もあります。	さらに、目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする工夫もある。	また、大豆に含まれる栄養だけを取り出して、ちがう食品にする工夫もある。	次に、粉にひいて食べる工夫がある。	一番分りやすいのは、いったり、にたりする工夫である。	大豆は、ダイズという植物の種であり、おいしく食べるために工夫されている。	わたしたちの毎日の食事では、ほとんど毎日食べているのが大豆である。	文章構成
・昔の人々のちえ	・このようにそのうえ	・これらのほかにえだ豆もやし	・さらになつとうみそやしょうゆ	・さらにすりつぶすしぼり出しとうふ	・次にこなにひいてきなこ	・いったり、にたり大豆黒豆	・これがそのため	・なんだか分かりますか。それは、大豆です。	着目させたい語句
大豆のよい所と取り入れてきた昔の人々のちえをさがす。	大豆のよい所と取り入れてきた昔の人々のちえをさがす。	これらのほかに、取り入れる時期や育て方を工夫した食べ方もあります。	さらに、目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする工夫もあります。	また、大豆に含まれる栄養だけを取り出して、ちがう食品にする工夫もあります。	次に、こなにひいて食べる工夫があります。	いちはばんわかりやすいのは、大豆をその形のままいたり、にたりして、やわらかく、おいしくする工夫があります。	大豆は、ダイズという植物のたねです。	大豆は、いろいろな食品にすがたをかえていることが多いので、気づかれないのです。	中心文

文章構成図	①②	③④⑤⑥⑦	⑧⑨
-------	----	-------	----

食べ物はかせになろう

名前

か題

じょうほうカード

小見出し

ふりかえり

じょうほうカードの整理ができたか。

友だちのカードを読んで、教えてあげることができたか。